



ボッシュの新しい研究開発・先端エンジニアリング センター がオープン 新しい研究施設に従業員が移転 センターの工期完了は2015年初夏を予定

2014年10月9日
PI 8720 RB AI/Na

- ▶ 約 800 人の従業員が 2014 年末までに移転予定
プロジェクトは順調に推移: 残りの建物の建設と新施設への移転は 2015 年初夏までに完了予定
- ▶ ボッシュのデナーCEO:「レニンゲンの新拠点がボッシュ・グループの技術革新力を押し上げることになるでしょう」
- ▶ 大学のキャンパスのような雰囲気が豊かな創造性と密な連携を醸成

レニンゲン – レニンゲンに新設されたボッシュ研究開発・先端エンジニアリング センターに、研究者・エンジニアの第一団がいよいよ移転を始めました。起工式から約2年半後の2014年末までに、約800人の従業員が新しい研究キャンパスで仕事を開始する予定です。グループ内の研究開発・先端技術開発活動はこれまで、ゲルリンゲン、シュヴィーバーディング、ヴァイブリングンの各拠点でそれぞれ進められてきましたが、今後はレニンゲンの新センターがボッシュのグローバルな研究ネットワークの中心地として機能することになります。そして、ボッシュのこの新拠点において、計1,700人のうち、最初に移転する800人が正式に業務を開始する計画です。ボッシュは、研究者のネットワークを強化することで、技術革新力をさらに押し上げていきたいと考えています。ボッシュ取締役会会長のフォルクマル・デナーはこう述べます。「レニンゲンの新拠点は、ボッシュ・グループの技術革新力を押し上げることになるでしょう。ボッシュの戦略的な目標は、コネクテッド ライフのためのソリューションを開発することです。この目標を実現するために、私たちはレニンゲンの研究者・エンジニアのネットワークをこれまで以上により緊密にしていきたいと考えています」。レニンゲンのこの新センターが加わることで、2015年からボッシュの研究ネットワークは6つの国、8つの拠点を構成されることとなります。また、ボッシュは新センターの設立に約3億1,000万ユーロを投入しています。

ロジスティクス面での挑戦 – 移転を数段階に分けて計画

ボッシュの研究者たちは2014年末までにこの敷地の東部にある建物と本館に移転す



ることになっており、西部の建物は2015年第1四半期に完成予定です。荷物の輸送には特別な配慮を要するため、新しい研究キャンパスの移転は約6カ月をかけて段階的に進められます。これまで270の拠点におよぶラボに設置されていた試験機器や技術装置など約1,800台を移設することになるため、これらをレンニンゲンの新センターでも問題なく稼働できるよう、装置の分解・梱包・運搬・再組立は細心の注意をもって行われます。2015年初夏までには、段ボール1万2,000個分以上の荷物が新しい研究施設に運び込まれる予定です。

理想的な研究環境を備えたキャンパス

ボッシュ研究開発・先端エンジニアリング担当部長のミヒャエル・ボレはこう述べます。「ボッシュは初めて、シュトゥットガルトの広い地域に散在していた研究開発・先端エンジニアリング事業を1つの拠点にまとめることができました。今回のことが、ボッシュで研究開発を進める上で重要な転換となったことは間違いありません」。研究者たちのニーズに合わせて特別に設計された新研究センターの各建物は、大学キャンパスのコンセプトをベースに、広々とした敷地に配置されています。また、このコンセプトは、創造性と連携を促進する魅力的な職場環境を提供することに主眼が置かれ、特別に開発されました。「建物内装のデザインとフロアの配置には、私たちのイノベーションプロセスが反映されました。このプロセスの各段階で、従業員にとって理想的な職場環境となるでしょう」。さらに、ワークショップやラボとオフィスが物理的に近付いたことで、研究者たちは自身が思いついたアイデアもすぐにテストできるようになりました。

革新の原動力 – 特許出願数は1営業日あたり平均20件

ボッシュは2013年に計4,964件の特許を出願しました。1営業日あたりで計算すると平均20件に上り、特許出願数では世界でもトップレベルにあります。ボッシュは昨年、売上高の約10%に相当する45億ユーロを研究開発に投入しました。そして現在、ボッシュは約4万2,700人の研究者とエンジニアを配置し、世界中の拠点で約1,300人の従業員がボッシュ・グループの研究開発・先端エンジニアリング部門に従事しています。

報道用画像: 1-RB-20640、1-RB-20641、1-RB-20642

新しい研究開発・先端エンジニアリングセンターの詳細についてはwww.bosch-renningen.deをご覧ください。

報道関係対応窓口:

Alexandra Albrecht

電話: +49 711 811-35808

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2013年の従業員数は約281,000人、売上高は461億ユーロを計上しています(注: 会計方針の変更のため、今回公表する2013年のデータと昨年発表した2012年データは、限定的な範囲での比較)。事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、



サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。

ボッシュは2013年に約45億ユーロもの金額を研究開発に投資しました。さらに全世界では5,000件以上の国際特許の基礎特許（第一国出願）を出願しています（1日あたり平均20件の出願数）。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ（1861～1942）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主（利益配当）」と「経営（議決権）」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」（持株比率92%、議決権なし）が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英文）www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英文）、ツイッター <http://twitter.com/BoschPresse> を参照してください。